

## 関係議会におけるリニア駅に関する発言について

- 前回の第2回検討会議（11月10日）以降に開催された県議会及び市議会において、リニア事業に関連して以下の主旨の発言があったところ。

### 1 駅または駅周辺に必要な機能及び施設について

- 「長野県の南の玄関口」に相応しい駅とするための交通結節機能に加え、らしさを表現するための意見を十分聴く必要がある。
- 駅舎の外観も大切な要素である。
- リニア駅の乗降客数を十分精査する必要があるのではないか。
- 外国人旅行者を誘客するための施設・空間が必要ではないか。  
（例）免税品・ブランド品販売、外貨交換など
- 公益性の高い自治体が管理する商業空間が必要ではないか。  
（例）飯田下伊那地域の市町村、上伊那広域連合、県などがそれぞれ管理するスペース
- 交通関係の整備だけでなく、外国人観光客誘致や自治体参加を見込んだ用地を確保する必要があるのではないか。
- リニア中央新幹線の最大限の利活用のために、会議場・展示場・イベント会場等の複合的機能を有し、駅に直結するコンベンションセンターが必要ではないか。

### 2 駅周辺の整備について

- トランジットハブ（交通結節機能）として機能させるためにはアクセス道路が重要となってくる。
- 地域公共交通の検討も含め、ソフト及びハードの両面から整備を検討する必要がある。